

No. 91 >>> Contents

●一般財団法人大日本蚕糸会から

- 生産コストを反映した合理的な繭価格の実現に向けた取組み状況
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 ①
- 中古の「自動収繭毛羽取機」「回転簇」等を販売いたします
..... 碓氷製糸株式会社 ③
- 農林水産祭参加繭品評会について 一般財団法人大日本蚕糸会 ⑤

●トピックス

- 令和8年度高付加価値蚕糸業確立事業の取組について
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部 ⑦
- 「カイコを育てよう！2026」に取り組んで
ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー
..... 「カイコを育てよう！2026」実行委員会 ⑨
- こども霞が関見学デー「和の文化に触ってみよう！」まゆクラフト作りを体験
..... 農林水産省 農産局 果樹・茶グループ
地域作物第2班（蚕糸担当）阿部 渚 ⑩

●研究・技術情報

- 次世代型の養蚕施設 AIで効率化 ながすな繭株式会社 堀井和輝 ⑪
- 絹の濃染について ー化学修飾したグラフト加工絹の濃色染色の試みー
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 花之内智彦 ⑬
- 桑園におけるアメリカシロヒトリの発生について
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部 蚕糸科学技術研究所 ⑮

●海外情報

- タイ王国クイーンシリキット養蚕局代表团 来会
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 企画調整部 ⑯

●イベント情報

●一般財団法人大日本蚕糸会から

- 2026年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ⑳
- 活動日誌 ㉑

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。） ㉒

大日本蚕糸会では、令和 8 年度から新たな中期事業計画に沿って各種取組みを進めています。その中で「合理的な繭価格形成促進対策」の取組み状況についてまとめました。

生産コストを反映した合理的な繭価格の実現に向けた取組み状況

我が国の蚕糸業を存続させるためには、速やかに生産コストを反映した合理的な繭価格を実現して養蚕業の収益性を改善することにより、養蚕業の後継者、新規参入者を確保して養蚕農家数、繭生産量の減少に歯止めをかけることが必要である。

大日本蚕糸会では、令和 8 年度から、養蚕農家と製糸業者等が協議した上で、生産コストを反映した合理的な繭価格（目標価格）の水準について合意し、原則として 3 年以内に繭価格を目標価格まで引上げる計画を策定する場合、繭価格の引上げ幅の一部を暫定的に支援する繭価格対策を実施している。

繭の生産量でみると全体の 3/4 を占める養蚕農家、製糸会社等が本対策に取り組むことを表明しており、提出された計画によれば、令和 7 年度の平均繭価格（2,637 円 / kg）を基準とした場合、令和 8 年度の繭価格は 3,520 円 / kg で約 3 割の価格引上げ、令和 10 年度には 4,749 円 / kg で約 8 割の価格引上げとなっている。

計画どおり繭価格の引上げが実施されれば、令和 10 年度までに総生産量の 9 割を占める生糸用の繭について生産コストを反映した合理的な繭価格が実現される見込みである。

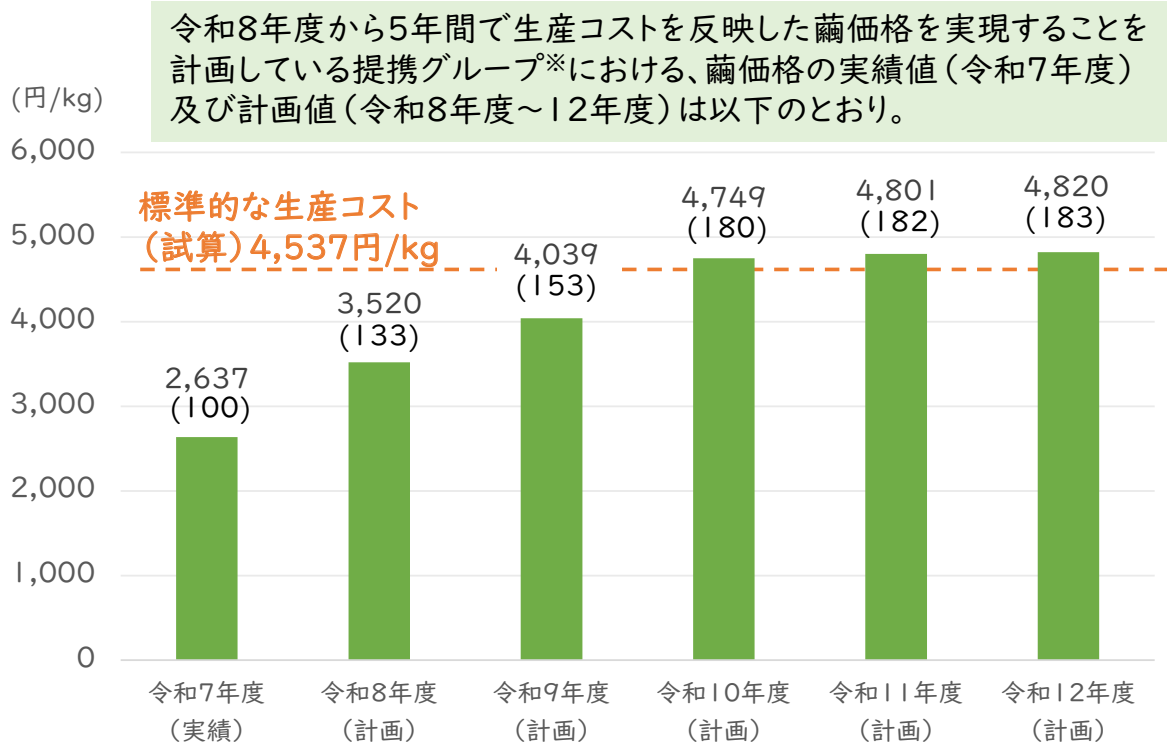
今後の課題は、令和 8 年度以降計画に則して着実に繭価格の引上げが実施されていることを確認しつつ、消費者に国産生糸が有する歴史的・文化的な価値や輸入生糸にはない特長に関する理解を深めていただき、国産生糸を使用した絹製品への価格転嫁を円滑に進めることなどがある。

〔 詳細は下記 URL 参照：

https://silk.or.jp/wp-content/uploads/fairprice_2026.6.17.pdf#view=Fit 〕

国産繭価格等の現状と今後の見通し

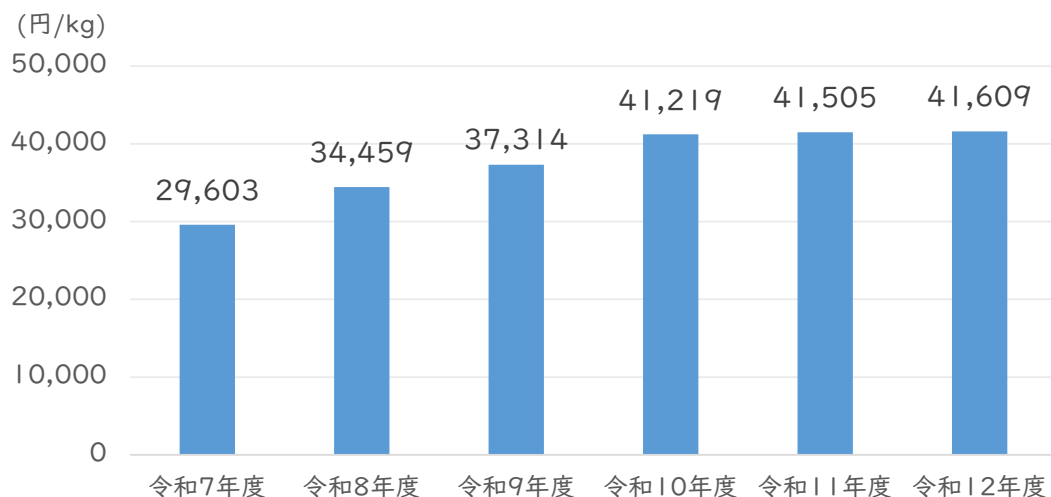
国産繭価格



※提携グループとは、純国産絹製品づくりに取り組む養蚕農家、製糸会社、染織業者、絹織物販売業者等で構成しているグループである。

(参考)

国産生糸価格(試算)



○生糸1kg当たり上繭5.5kg使用と仮定
○平均製糸コスト15,099円/kg
(令和7年度製糸会社調査結果)

中古の「自動収繭毛羽取機」「回転簇」等を販売いたします

碓氷製糸株式会社

養蚕農家や新規に養蚕を始めたい方々から「養蚕の資材がありませんか？」とのお問い合わせが多くあり、養蚕資機材の手当ての要望が強まっています。このため、当社では、令和4～7年度の間、大日本蚕糸会の支援を受け、中古の養蚕資材の回収、修理を行い、使用可能な中古養蚕用資機材を提供してきました。このたび、依然と中古養蚕資機材供給への強い要望があり、継続して中古養蚕資機材の回収並びに回収養蚕資機材の修理等を実施し、使用可能な中古養蚕資機材の販売事業を実施することとしました。

1 養蚕資機材等の供給の状況と中古資機材の回収

養蚕資機材は、製作している業者も数少なく、一部の資機材は、製造業者も存在していません。このため、養蚕資機材の多くは、「養蚕を休廃業された元養蚕農家の協力を得て、使用されていた中古養蚕資機材を譲り受け」て調達し、修理等している状況です。この場合、回収した自動収繭毛羽取機などの機械類は、ほとんどが一度分解し、組立整備を行う必要があるものです。加えて、養蚕機械専門業者も養蚕農家等の現地などで個別修理対応が厳しい状況にあります。

これらの状況下で、本年度から新たに3カ年、一般財団法人大日本蚕糸会の協力のもと、第一段階として、元養蚕農家の協力を得て、中古養蚕資材の回収を進めます。「納屋などにまだ使える養蚕資材があります」との情報をもとに、JA 養蚕担当者の協力を得て使用可能な資機材の回収を行い、第二段階として回収資機材を自動収繭毛羽取機の開発設計者等の協力を得て修理し、通常の機能で利用できる資機材を販売します。まだまだ、数量に限りはありますが、一定量を確保することにより、多くの養蚕農家等関係者の導入希望を満たせるよう努めていきます。

(1) 中古資機材の改修等

元養蚕農家が保有する中古資機材（自動収繭毛羽取機、回転簇枠、ボール簇、飼育台）の回収を行い、修理します。回収に当たっては、資機材の状況を判断して買取価格を設定いたします。



自動収繭毛羽取機「マユクリン」

(2) 中古資機材の修理

収集した中古資機材の修理・整備と保管（自動収繭毛羽取機のモーターサイクルが東日本地域と西日本地域で異なります。）

(3) 修理した中古養蚕資材の販売

自動収繭毛羽取機など部品交換、整備を行い、従前の機能を持つ中古資機材の販売
中古養蚕資材は下記金額で販売します。（下記単価は、税込み・送料別、令和8年9月1日現在価格です。今後、部品等の価格変動により価格改定もありえますことご承知をお願いします。）

①自動収繭毛羽取機 マユクリン1台 99,000 円

（注）「まゆエース」については、回収状況により中古機材
そのものを若干数の提供（未修理で部品取り用）となります。

②回転簇 木枠・金枠 1本 440 円

③回転簇用ボール簇 使用済 1組（10枚） 660 円（販売単位2組 / 箱）

④飼育台 1間 1,430 円

2 お問い合わせ（受付窓口）

碓氷製糸株式会社 〒 379-0221 群馬県安中市松井田町新堀甲 909

電話番号 027-393-1101 FAX 番号 027-393-1102

E-mail usui@xp.wind.jp

担当 安藤・土屋・萩原

（注）数に限りがありますので、ご要望の資材がご用意できかねる場合もあります。

事前に電話等でお問い合わせください。なお、中古資材の販売については、糸繭生産する養蚕農家を最優先とさせていただきます。

令和8年度の笠間稲荷神社献穀献繭品評会の献繭の部については、良質な繭の生産を一層推進するため、笠間稲荷神社をはじめ関係者のご協力をいただき、対象地域を全国に拡大し、農林水産祭参加行事として実施することとなりました。

奮って出品をいただきますようお願いします。

一般財団法人大日本蚕糸会

農林水産祭参加繭品評会について

趣旨

養蚕農家等の繭生産意欲の向上と良質な繭の生産に資するため、笠間稲荷神社献穀献繭品評会の献繭の部の対象地域を全国に拡大して、より多くの養蚕農家等に優良な繭の出品を奨励し、全国的な繭品評会として実施する。

1. 主催

献穀献繭品評会

(宗教法人笠間稲荷神社、常陸農業協同組合、一般財団法人大日本蚕糸会)

2. 実施方法

(1) 出品繭の収集

ア. JA等において、各蚕期の繭を出荷する際に、養蚕農家等の出品の意志を確認の上、出品用に生繭300gを網袋にサンプリングし、出品者氏名、蚕品種、蚕期等を記載した出品票を入れて封印し、出荷繭といっしょに製糸会社等に送付する。(蚕期、品種等が違う場合は一人3点まで出品可。)

イ. 出品繭を受け入れた製糸会社等は、入荷繭といっしょに繭袋ごと乾燥し、蚕糸科学技術研究所に送付(送料着払い)する。

ウ. ただし、出品繭の点数が多い地域については、第一次審査(肉眼審査)を行い、第一次審査に合格したものを蚕糸科学技術研究所に送付することができる。

エ. 出品繭に係る繭代は製糸会社等繭を買い受けた側の負担とする。なお、上記ウ.の第一次審査により蚕糸科学技術研究所に送付されなかった繭は製糸会社等で原料繭として使用することができる。

(2) 蚕糸科学技術研究所における繭の審査

ア. 蚕糸科学技術研究所における審査は次の手順で行う。

①肉眼審査（繭の斉一性、光沢等5項目）により25点を選出する。

②選出された25点について、繭重、繭層重、繭層歩合を求め、40粒繰糸により生糸量歩合、繭糸長、解じょ率を検査し、品種特性を加味して合計点の高いものから順位を決定する。

イ. 第二次審査に供された繭は、笠間稲荷神社に奉納する。

(3) 表彰式

ア. 表彰式は、11月23日に笠間稲荷神社で実施する。

イ. 従来の賞に加え、最高位の繭を出品した養蚕農家等（農業を生業としない学校等を除く。）には農林水産大臣賞を、次点には農産局長賞を授与する。

なお、農林水産大臣賞受賞者は次年度の農林水産祭における三賞（天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞）の選賞候補となる。

(4) その他

奉納された繭は、献穀献繭祭で展示するほか、売却してその収益は表彰事業の経費に充てる。

3. スケジュール

- | | |
|------------|----------|
| (1) 正式出品要請 | 10月1日 |
| (2) 第一次審査 | 11月上旬まで |
| (3) 第二次審査 | 11月10日前後 |
| (4) 表彰式 | 11月23日 |

令和8年度高付加価値蚕糸業確立事業の取組について

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸絹業振興部

大日本蚕糸会では、農林水産省の補助事業「令和8年度持続的生産強化対策事業推進費補助金等（茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（全国的な支援体制の整備事業）」の採択を受け、我が国における持続的養蚕業の確立に向けた方策の検討「高付加価値蚕糸業確立事業」を行っています。

令和7年度「持続的養蚕業確立事業」の成果

令和7年度は、農林水産省の補助事業として「持続的養蚕業確立事業」を実施しました。その成果の概要は以下のとおりです。

良質な桑の生産による繭の安定生産と品質向上を図るため、主要6産地（岐阜県、群馬県富岡市、長野県、福島県、栃木県北央、栃木県小山市）に技術アドバイザーを派遣して、専門家による研修会を開催して、桑園診断と桑園管理への助言を行いました。

また、国産生糸の強みを生かした付加価値の高い製品づくりに向けて、全国シルクビジネス協議会の協力を経て、「新たなビジネス展開WG」を開催し、トレーサビリティ確認のための安定同位体比分析及び元素分析を用いた生糸の産地判別、製糸工程の国際的な有機認証（GOTS 認証）、少量多品目生産システムの構築について検討しました。

さらに、需要拡大に資する取組みとして、「国産繭・生糸サポーター」制度を創設し、当会のHPやプレスリリース、提携グループ等を通じて、サポーターを募集しました。サポーターに対しては、蚕糸業の現状やその歴史的・文化的価値に関する情報やイベント情報を掲載したメールマガジンを毎月送信しています。

3月14日の「蚕糸の日」に因み、消費者を対象として国産生糸の価値や国内蚕糸業の現状について理解を深めるための「蚕糸の日2026フォーラム」を開催しました。

令和8年度の取組

事業実施に当たり有識者の幅広い助言を得るため、高付加価値蚕糸業確立検討会を設置しています（参考：委員名簿）。第1回検討会を7月7日に開催し、今年度の事業計画を中心に意見を伺いました。

令和8年度においては、以下のような事項に取り組む計画です。

国産繭については少量であっても実需に求められる品質と数量を確実に提供する体制を構築する必要があると考えています。養蚕現場では、蚕や桑の病害への対応等繭の安定生産のための技術指導が必須ですが、地域の指導体制は弱体化しています。このため、蚕糸科学技術研究所の技術者及び外部の専門家を技術アドバイザーとして登録し、養蚕農家への助言を

行います。

また、国産生糸の価値向上と需要拡大を図るため、「国産繭・生糸サポーター」のネットワークを活用しつつ、蚕糸業の現状や歴史的・文化的価値についてイベント等を通じて広報するとともに、特色ある国産生糸を紹介する動画等を作成して、HP や SNS を通じた発信を進めます。

さらに、令和7年度 of 取組成果を踏まえ、元素分析による国産生糸と輸入生糸を判別する技術の確立を目指すこととしています。

(参考) 高付加価値蚕糸業確立検討会委員名簿

座長	中澤 靖元	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻教授
座長代理	合瀬 宏毅	(一社) アグリフューチャー・ジャパン代表理事 理事長
委員	飯塚 哲也	農研機構生物機能利用研究部門絹糸昆虫高度利用研究領域長
	高林 千幸	岡谷蚕糸博物館館長
	棚町 敦子	(株) ハースト・デジタル・ジャパン
	森泉 政信	群馬県農政部蚕糸特産課主監

(委員は五十音順)

事業スケジュール

	検討会の開催	需要拡大に資する取組み			技術アドバイザーの登録・派遣
		イベント	国産生糸の紹介動画作成	産地判別	
4 月					
5 月					桑園管理 養蚕全般
6 月		開催内容検討・準備			
7 月	第1回検討会 (7日)		動画構成の検討・作成	FAMICに 依頼	
8 月					
9 月		明治神宮イベントへの出展			
10 月					
11 月	第2回検討会				
12 月					
1 月					
2 月					
3 月	第3回検討会	「蚕糸の日」関連イベントの実施			

「カイコを育てよう！ 2026」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

「カイコを育てよう！ 2026」実行委員会

各地の博物館では、地域の特徴を活かした博物館展示、催事が行われています。特に夏休みを中心に「カイコの飼育体験」が開催されてきました。こうした活動を統一的、横断的に紹介し、蚕糸業の現状を知ってもらうとともにこれからの蚕糸業を考えようと昨年につき、「全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン」を実施しましたので、その概要について報告します。

今回参加した機関は、以下の7施設でした。ポスター・チラシ・HPで広報活動を行うこととしました。また、グッズとして参加機関のキャラクター7体を印刷した折り紙を作成し、配布しました。カイコの飼育に挑戦した方は592名、学校の参加数は32校で、感想付きのプレゼント応募者も多く、抽選の上商品発送を行いました。

また、全国の参加施設においては、養蚕業の現状を理解、応援していただくためにサポーター募集チラシも配布し、啓蒙活動につとめました。

今回の取り組みで多くの方に蚕糸に関心を持っていただくきっかけとなり、今後につながるものと期待しています。

参加施設（博物館）・行事名

参加施設名	参加行事名
野外博物館 北海道開拓の村	「蚕を育てて自由研究」
群馬県立日本絹の里	学ぼうカイコ
シルク博物館	「カイコの一生」を観察しよう！
岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー	糸都岡谷で、カイコとシルクを知ろう！
駒ヶ根シルクミュージアム	夏休みにお家でカイコを育てよう
西予市野村シルク博物館	カイコを育てよう！ 2026
ジャパンシルクセンター	カイコと友だちになろう！



こども霞が関見学デー

「和の文化に触ってみよう！」まゆクラフト作りを体験

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

地域作物第2班（蚕糸担当）

阿部 渚

7月29日（水）、30日（木）の両日、霞が関の農林水産省本庁7階会議室に「和の文化に触ってみよう！」と題し、まゆクラフト作りの体験コーナーを開設しました。

今回は両日各5回、各3名の計30名の子どもがまゆクラフト作りに挑戦。1回30分の短い時間でしたが、クラフト作り（うさぎ）に奮闘していました。

私自身も今回のクラフト作りのために、7月初旬に岡谷蚕糸博物館で自らクラフト作りに挑戦、体験し臨みました。

また、当日は大日本蚕糸会から生きたカイコの提供を受け、来場した子ども達や保護者の方にも実際にカイコを直接触ってもらい、養蚕から製糸、カイコへの興味を持つ貴重なきっかけを提供できました。

今回のこども霞が関見学デーの行事を通して、カイコや生糸について興味を持った子どもたちから「カイコを育ててみたい」「カイコについて勉強したい」など、意欲溢れる声からエネルギーを貰いました。未来の子どもたちに、国産シルクを残すためにも、より一層業務に励みます。



次世代型の養蚕施設 AI で効率化

ながすな繭株式会社
堀井和輝

私たち、ながすな繭株式会社は、京都府京丹後市を拠点に、シルク素材や製品の研究開発、製造に取り組んでいます。丹後では、かつて町の至るところから機織りの音が聞こえ、シルクは地域の暮らしに深く根づいていました。現在もその音を耳にすることはできますが、以前に比べて少なくなっています。国産繭の生産も縮小を続け、養蚕農家の高齢化や後継者不足が深刻です。シルクに携わる私たちにとって、繭を将来にわたり安定して確保することは、避けて通れない課題です。

そこで当社は、京丹後市から事業委託を受け、令和三年から屋内での周年養蚕に取り組んできました。京丹後市と京都工芸繊維大学が研究してきた無菌周年養蚕システムの知見を受け継ぎ、全齢人工飼料育により、蚕種のふ化から飼育、上簇、収繭、乾繭までを行っています。季節や桑の生育に左右されにくい一方、規模を拡大するほど、給餌、飼育容器の移動、清掃、蚕の状態確認などに多くの人手を要します。安定生産と事業性を両立するには、作業方法を大きく見直す必要がありました。



AGV（無人搬送車）

この課題に応えるため、令和八年七月、京丹後市弥栄町に次世代型養蚕実証プラントを開設しました。フル稼働時には年間約八トンの生繭生産を想定し、人工飼料による周年養蚕に AI、AGV（無人搬送車）、ロボットなどを組み合わせています。

施設では、温度と湿度をセンサーで継続的に計測し、飼育環境を制御しています。蚕は発育段階によって適切な環境が異なるため、感覚だけに頼らず、数値を記録して再現可能な飼育条件をつくることが重要です。

現在、AI が担っているのは、カメラ画像を使った蚕の頭数把握と、その頭数に応じた給餌量の指示です。飼育容器内の蚕を人が数えるには多くの時間と労力がかかりま

すが、AI を使えば瞬間的に把握できます。頭数に合わせて必要な飼料量を算出することで、飼料の過不足を抑え、発育の安定と生産コストの管理につなげています。

飼育容器の搬送には AGV を活用しています。重量のある容器を運ぶ作業を機械に置き換えることで、身体的な負担を軽減し、施設内を効率よく搬送できます。一方、AI が指示した量の飼料をロボットが自動で与える仕組みは、これから実装する機能です。現在は AI が算出した給餌量を人が確認し、給餌しています。



トレー搬送装置

私たちが最終的に目指すのは、通常時には基本的に人が介在しなくても養蚕できる自律型システムです。AI が蚕の頭数や発育状態を把握し、飼料の量と給餌時期を判断する。その指示を受けてロボットが給餌し、AGV が飼育容器を搬送する。これらを連携させ、蚕種の受け入れから収繭までを安定して行える仕組みを構想しています。

もちろん、蚕は一頭一頭が生き物であり、品種や飼料、飼育時期による違いや想定外の変化もあります。人の知識を不要にするのではなく、AI と機械が通常時の作業を担い、人はシステムの監督、品質評価、飼育方法の改善、緊急時の対応に力を注ぐ形を想定しています。熟練者の観察や判断をデータ化し、システムに反映することも、技術継承の重要な取り組みです。

実証プラントは単に繭を生産する工場ではなく、養蚕から素材開発、製品化までをつなぐ出発点です。生産した繭を繊維用途に生かすとともに、セリシンやフィブロインの機能を生かした化粧品、ヘルスケア、工業素材などへ展開し、繭の価値を高めていきます。

私たちは、先人が培ってきた知恵とシルクの魅力を受け継ぎながら、養蚕を現代の技術や産業に適した形へ進化させることを目指しています。京丹後から、人手に過度に依存しない新しい養蚕の姿を示し、日本のシルクを未来の成長産業として育てていきたいと考えています。

絹の濃染について

—化学修飾したグラフト加工絹の濃色染色の試み—

一般財団法人 大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

花之内智彦

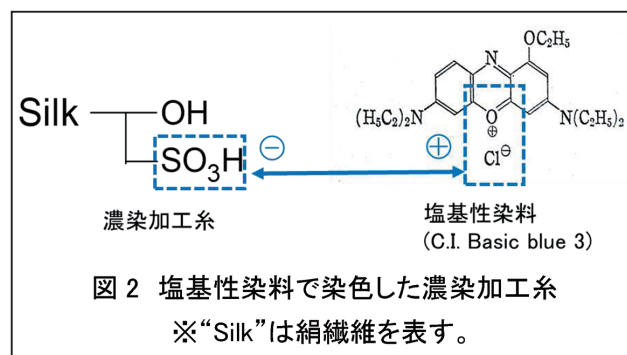
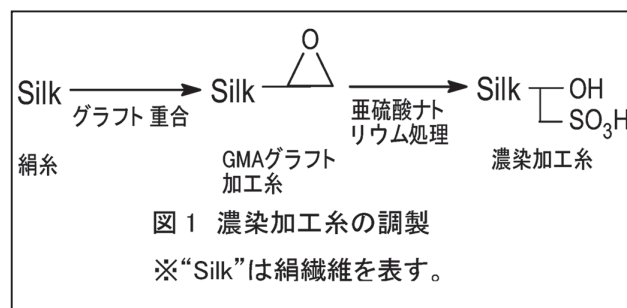
はじめに

ある染色工場の社長との意見交換において、「染料価格が高騰している。濃色染色は、淡色や中色染色に比べて染料を多く使用するばかりでなく、染色残液に多量の染料が残るため、少ない染料で濃色に染まる濃染加工技術が課題である。」との話がありました。

繊維や染料は、⊕電荷あるいは⊖電荷を帯びた官能基を持っています。染液に繊維を浸けると、繊維が⊕電荷を帯びる場合は、⊖電荷の染料と引き合い、繊維が⊖電荷を帯びる場合には、⊕電荷の染料と引き合い、繊維に染料が染着します。繊維に⊕電荷あるいは⊖電荷の官能基を導入できれば、低い染料濃度で従来品と同程度に染色できるのではないかと。また、繊維に⊕電荷あるいは⊖電荷の官能基を導入できれば、繊維と染料が強固に結びつき、濃色染色であっても染色堅牢度が向上すると期待されることから、染色堅牢度の高い濃色染色技術の開発に取り組みました。

濃染加工糸の調製

繊維に⊕電荷あるいは⊖電荷の官能基の導入方法として、染色堅牢度、かさ高性の向上等の加工効果が期待できるグラフト加工（塩崎、1985）に着目し、グリシジルメタクリレート（GMA）モノマーを絹糸にグラフト加工したGMAグラフト加工糸を亜硫酸ナトリウムで処理し、⊖電荷の官能基を導入した濃染加工糸を調製しました（花之内、2022）（図1）。⊖電荷を帯びた官能基を導入した濃染加工糸を染色するには、⊕電荷を帯びる塩基性染料を使用します（図2）。塩基性染料は、光による変退色が大きい（耐光堅牢度が低い）、鮮明な色調の色が要求される場合に使用されることから（今田、2003）、付加価値の向上に繋がると考えます。



濃染加工系の染色性と染色堅牢度

濃染加工糸と未処理糸（精練のみ）とを同じ見た目の色（表面色濃度（K/S 値）に近い数値）になるように塩基性染料で染色します。K/S 値が 31 の濃染加工糸は繊維重量の 3% の染料使用量ですが、未処理糸では繊維重量の 10% の染料使用量となり、濃染加工糸は染料の使用量



(a)染料濃度 3%OWF-SS 処理系
(繊維重量の 3%の染料を使用)



(b)染料濃度 10%OWF-未処理系(精練のみ)(繊維重量の 10%の染料を使用)

図3 表面色濃度 31 になるように塩基性染料で染色した濃染加工系

が少ないことがわかります(花之内、2026)(図3)。濃染加工系と未処理系とを、塩基性染料で染色し、K/S 値が約 11(淡色)および約 31(濃色)の染色系を調製し、耐光堅ろう度、洗濯堅ろう度、汗堅ろう度および摩擦堅ろう度などの染色堅ろう度試験を行いました(表1)。染色堅ろう度は、耐光堅ろう度は 1-8 級、それ以外は 1-5 級で表し、級数が高くなるほど、変退色が少なくなります。濃染加工系は、未処理系に比べて耐光堅ろう度、洗濯堅ろう度、汗堅ろう度が向上しますが、摩擦堅ろう度が低下する傾向を示しました。

スカーフやネクタイは、耐光堅ろう度、汗堅ろう度、摩擦堅ろう度などが 3 級以上を満たす必要があります(中島、2017)。耐光堅ろう度が高く、繊維と結合しやすい塩基性染料を選択し、濃染加工系を染色すれば、濃色で染色堅ろう度の高い鮮明な色相の染色物が得られ、絹製品の高付加価値に繋がると思われます。

表1 塩基性染料で染色した濃染加工系の染色堅ろう度

		濃染加工系		未処理系	
染料濃度(%owf)		0.5	3.0	1.0	10.0
表面色濃度(K/S値)		11.1	31.1	10.7	31.1
耐光堅ろう度		2級以上 3級未満	2級以上 3級未満	2級未満	2級未満
洗濯堅ろう度	変退色	2級	2級	1級	1級
	汚染				
	絹	4級	2-3級	4級	3級
	綿	4-5級	4級	4-5級	4級
汗堅ろう度	変退色				
	酸性	4-5級	4-5級	4-5級	4-5級
	アルカリ性	4-5級	4-5級	4-5級	4-5級
	汚染(絹)				
	酸性	2級	1級	1-2級	1級
	アルカリ性	2級	1級	1-2級	1級
摩擦堅ろう度	汚染(綿)				
	酸性	4-5級	3級	4-5級	2-3級
	アルカリ性	4-5級	3級	4-5級	2-3級
乾燥	乾燥	3-4級	2級	4-5級	4-5級
	湿潤	4級	2-3級	4-5級	2-3級

【参考文献】

- 花之内智彦・信澤和行・齋藤裕文・齋藤 宏(2022) グリシジルメタクリレートグラフト加工絹糸の化学修飾による濃染効果, 蚕糸会研報, 69, 1-8.
- 花之内智彦・信澤和行・齋藤裕文・齋藤 宏・小池 均(2026) カチオン染料で染色した SS 処理系の染色堅ろう度の検討, 蚕糸会研報, 73, 10-14.
- 今田邦彦(2003) 染色技術者のための染料化学(その 9), 繊維機械学会誌, 56, 352-356.
- 中島康雄(2017) 繊維染色加工に関わる技術の伝承と進展—羊毛・絹繊維に関する技術—(独立行政法人日本学術振興会繊維・高分子機能加工第 120 委員会編). 268. (株)繊維社企画出版, 大阪.
- 塩崎英樹(1985) 絹のグラフト加工 - 研究と技術について. 日蚕雑, 54, 91-100.

桑園におけるアメリカシロヒトリの発生について

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸絹業振興部

蚕糸科学技術研究所

桑園における発生により甚大な被害をもたらすアメリカシロヒトリは、近年の温暖化の影響等で発生が早期化する傾向にあります。

本年も春先から複数の地域で発生が見られ、大日本蚕糸会でも、養蚕農家から発生の一報を受けて、技術アドバイザーとして登録している蚕糸科学技術研究所の技術者を現場に派遣して、発生状況の把握、防除支援、技術的な助言を行ったところです。

【大日本蚕糸会 HP より】

また、発生の一報を受けて、本年6月15日に右記のとおり、当会のHPに掲載するとともに、各県協議会、製糸会社、養蚕農家等に対して注意喚起を行いました。

今後も、温暖化等の影響により、多くの発生が懸念されることから、当会においても、早期発見・早期防除の観点から、発生状況の情報収集及び関係の皆様への注意喚起に努めてまいります。もし桑園での発生情報や防除等の御相談がございましたら当会までお知らせください。



一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸科学技術研究所
Institute of Sericulture and Silk Science
令和8年6月15日

桑園におけるアメリカシロヒトリの発生について

注意喚起

日頃から国内蚕糸絹業の振興に多大なる御尽力を賜り御礼申し上げます。
関東地方の複数地域の桑園において、**春蚕期からアメリカシロヒトリの発生が確認された**との情報がありました。

については、以下の点に御留意の上、**被害防止対策の徹底**をお願いします。

- 1. アメリカシロヒトリによる桑園被害**
この害虫は、食性が広くサクラなどの街路樹を食害することでも知られていますが、桑園においても多々見受けられ、油断すると幼虫が分散して桑葉を食害し収穫が皆無になる場合もあります。（写真1）
- 2. アメリカシロヒトリの生態と加害習性**
成虫は体長約15mmの白色の蛾で、通常年2回（5月～6月頃と7月下旬～9月中旬）発生し、葉の裏に産卵します。
産卵後ふ化した幼虫は巣網（写真2）を作り、中部まで集団で移動しながら食害します。
- 3. 巣網の早期発見と捕殺の徹底**
体巣網の中で群棲して加害している若齢幼虫期の巣網の早期発見による捕殺が、現時点で取り得る対策であることから、桑園の見回りを徹底して巣網がないかを確認し、巣網があれば巣ごと枝葉を切り取り捕殺するようお願いします。



【写真1】アメリカシロヒトリによる桑の食害

【写真2】若齢幼虫による巣網の形成状況

タイ王国クーンシリキット養蚕局代表団 来会

一般財団法人大日本蚕糸会
企画調整部

タイ王国クーンシリキット養蚕局代表団（養蚕局責任者スティラ・ポンジャルエン、地域養蚕センター所長、研究員など7名）が、2026年7月29日に本会蚕糸科学技術研究所、30日に本会有楽町本部に来会されました。

タイ王国と本会とは、蚕の遺伝資源と蚕種製造を中心とした養蚕技術の習得を目的とした交流があり、昨年もタイ王国からの研修生を受け入れております。

今回は表敬訪問として来会され、タイ王国の養蚕業の状況について情報提供がありました。

- 2026年養蚕農家数 63,340 戸、桑園面積 9,442.9ha、2025年生糸生産量 306 トン。2022年に新型コロナ禍の影響で一時的に生産が落ち込んだが、その後回復しつつある。

- 蚕品種は 260 種類、桑品種は 230 種類を保有している。

- タイシルクは、タイ農業協同組合省が4段階（格付上位から Gold、Silver、Blue、Green）で格付けしている。（34 か国で商標登録している。）

- 近年の温暖化の中で、暑さに強く病気に強い蚕品種の開発が課題となっている。

- 2028年にタイ王国で国際養蚕委員会（ISC）大会が開催予定となっている。

本会からも、日本の蚕糸業の現状について説明し、意見交換を行った。



蚕糸科学技術研究所にて



有楽町本部にて

イベント情報

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「新収蔵 東英社ヤマキ製糸場資料」

岡谷市湊にあった東英社ヤマキ製糸場の資料が令和5年に岡谷蚕糸博物館に寄贈されました。製糸工場での経営資料や、当時の工場での写真、製糸工場や、社長である伊藤家で使用されていた道具類など明治後半から昭和初期にかけての、一つの製糸工場の姿がわかる貴重な資料です。本企画展では速報として、寄贈された資料を多くの方にご覧いただきます。

〈会期〉 令和8年10月15日（木）～令和9年1月31日（日）

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 企画展

「日本の心・つなぐ～パッチワークキルト5作家展～」

国内外で活躍している、5人のキルト作家（岡野栄子・吉田サチ子・飯高悦子・坂くに子・多田紀子）が制作した、絹の着物などの「日本の布」を使った、個性あふれるパッチワークキルトの作品を展示します。

〈会期〉 令和8年9月17日（木）～11月14日（土）

休館日：火曜日、11月4日（水） ※11月3日（火・祝）は開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 「群馬の絹」展

～観る、買う、装う、シルクとの出会い～

群馬の繭・生糸を使用した、和装品や洋装品、工芸品などの絹製品の展示と販売を行います。手織りや藍染め等のワークショップ、きもの着付け体験などのイベントも同時開催します。会期中は特別に入館料無料となります。

〈会期〉 令和8年11月19日（木）～11月23日（月・祝）

会期中無休

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

繭の特性をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家及び日本絹の里友の会会員による作品を展示し、繭や絹の魅力を紹介します。

〈会期〉 令和8年11月29日（日）～令和9年2月7日（日）

休館日：火曜日、年末年始〔12/27～1/5〕 ※1月3日は臨時開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 令和8年10～12月イベントのご案内

【実演・ワークショップ】 ※ワークショップの申し込みは事前予約制です。

- 10月3日(土) 【ワークショップ】 シルクスカーフ染め体験
10月31日(土) 【ワークショップ】 くみひもストラップ作り
11月7日(土) 【子ども向けワークショップ】 まゆ人形作り
11月14日(土) 【子ども向けワークショップ】 かいことシルクの勉強会
12月5日(土) 【実演】 手作り真綿の実演
12月12日(土) 【子ども向けワークショップ】 ☆クリスマス限定イベント☆
生糸のランプシェード作り
12月12日(土) 【子ども向けワークショップ】 ☆クリスマス限定イベント☆
まわたの天使作り
12月26日(土) 【ワークショップ】 くみひもストラップ作り

【講習会】

- 10月17日(土) 【講習会】 手作り真綿の講習会
10月24日(土) 【講習会】 手紬糸作りの講習会
11月21日(土) 【講習会】 手紬糸作りの講習会

【イベント】

- 12月1日(火)～1月24日(日) 横浜輸出スカーフ展示
12月15日(火)～1月24日(日) 『たのしいかいこの発表会』(12月20日(日)
表彰式)
※「たのしいかいこの発表会」会期中、小学生は入館料無料
12月20日(日) シルキークリスマス・コンサート
※「シルキークリスマス・コンサート」開催日、終日入館無料

【秋の特別展】

『めざせ^{ほうさん}豊蚕 - おかいこさまの道具展 -』

- 会期: 令和8年10月10日(土)～11月23日(月・祝)
●内容: 「蚕を養う」という営みの中で作り出され、改良を重ねられてきた蚕具の数々
を紹介します。

詳細はホームページをご覧ください、お電話にてお問合せください。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンタービル2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

【秋の特別展】

- ① 展覧会名：『めざせ^{ほうさん}豊蚕 - おかいこさまの道具展 -』
- ② 会期：令和8年 10月10日（土）～ 11月23日（月祝）
- ③ 会期中の休み：月曜日（祝休日の場合は翌日）
- ④ 時間：9時30分開館、17時閉館（ただし入館は16時30分まで）
- ⑤ 入館料：一般 700円（500円）、シニア 500円（400円）、大学生 300円（200円）、
小中学生・高校生 100円（50円）
- ※（ ）内は団体料金です
- ⑥ 内容：「蚕を養う」という営みの中で作り出され、改良を重ねられてきた蚕具の数々
を紹介します。
- ⑦ 関連イベント：
- ギャラリートーク／10月25日（日）、11月8日（日）、23日（月祝）各日ともに14時～
 - 特別講演／11月1日（日）13:30～15:30
 - ・講演タイトル：「お蚕さんと人をつなぐ道具たち - 受け継がれる養蚕の知恵と未来のかたち -」
 - ・講師：アシザワ養蚕 芦澤洋平氏
 - ・参加費：無料（別途入館料が必要です）
 - ・定員：40名
 - ・申込方法：お電話にて事前申込制（先着順・定員に達し次第受付終了）
 - ・申込募集期間：9月12日（土）～

詳細はホームページをご覧ください、お電話にてお問合せください。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンタービル2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>



新版双六養蚕手前の葉（部分）



新版双六養蚕手前の葉



毛羽取器

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 企画展

「岡谷市制施行 90 周年記念展」

会期： 令和 8 年 7 月 2 日（木）～ 10 月 12 日（月・祝）

開催報告：

岡谷市制施行に関する行政資料や記念品、岡谷市報の創刊号などを展示しました。関連イベントとして市花ツツジを繭で作るワークショップ、講演会、旧岡谷市役所庁舎見学会等を行い多くの市民の皆さんにご参加いただきました。岡谷市 90 年の歩みを振り返る記念展となりました。

群馬県立日本絹の里 特別展

「デザインから観る和更紗」

会期： 令和 8 年 6 月 6 日（土）～ 7 月 12 日（日）

開催報告：

インドより渡来した更紗を模倣して江戸時代に生まれた「和更紗」。鮮烈な色彩の中に映し出される、異国情緒溢れた独特な美しさに魅了され、日本の職人たちは独自の文様を生み出しました。想像上の動物や植物、人物文様などを和風の様式と合わせてみたり、型染め特有の連続文様を構成にするなど、日本人ならではの好みを加えて、暖かみのある多種多様なデザインが作られました。

本展では、和更紗の蒐集・調査を行っている装丁家の熊谷博人さん所蔵コレクションを中心に、「和更紗」の魅力をご紹介します。当時の職人達が生み出した魅力あるデザインをお楽しみいただきました。会期中には、熊谷さんによる講演会や染色体験「更紗染ワークショップ」などを開催しました。

シルク博物館 夏休み企画

「お蚕さまの縁日」

会期： 令和 8 年 8 月 1 日（土）～ 8 月 9 日（日）

開催報告：

当館では、シルクを生み出す「かいこ」について、小学生の興味や関心を引出し、その後の学習へとつながることを目的として、年間を通じた「チャレンジ！かいこプログラム」を推進している。今回、そのプログラムの一環として開催した当イベントは、ミニワークショップやかいこのえさやりを通じて、小学生以下の子どもたちが、かいこや繭・生糸により楽しく親しめる内容とした。

会期中は連日、子どもたちの楽しく生き生きした声が会場に響いていた。保護者からは「6 種類のワークショップとかいこのえさやり、という幅広い体験をわずか半日でできる」という点や、「子どもの生物への興味関心を高められた」という点で、大変喜ばれた。

会期中の総入館者数は、927 人であった。

駒ヶ根シルクミュージアム 企画展

「真綿教室～駒ヶ根産の繭ガラから真綿をつくろう！」

開催日： 令和8年7月19日（日）、8月15日（土）、8月16日（日）

開催報告：

本館では昨年度（2025年度）から1歳から4歳までは当館スタッフが蚕を飼育し、5歳期は市内を中心とした一般市民の方に配蚕し、500頭から1500頭ほどの養蚕を行ってもらうミニミニ養蚕を春蚕と秋蚕で行っています。その繭ガラを利用して真綿作成を体験する教室を行いました。母親が昔、真綿作りを行っていたので自分も体験してみたかった。できた真綿で作品を作りたいと希望する方等々、様々な目的で県内外の方の参加を得ました。煮た繭から木杵に伸ばす作業を楽しみ、出来上がった真綿を持ち帰ってもらいました。真綿からの小物作りや利用の方法なども紹介できました。リピーターの方もおられ、今後も企画を続けていきたいと予定しています。

「季節限定 藍の生葉染めストール」

開催日： 令和8年7月23日（木）

開催報告：

本館の体験工房では、染色体験ができるが、今回は季節限定で、藍の生葉を使って絹のストールに染める体験を行いました。絹（シルク）は藍の生の葉で染めることが可能で、比較的簡単に染められる。これは絹の特性によるものであり、他の素材では難しい。今回は3名の参加があり、当館で用意した絹の布地から好みのものを選び、当館の庭に植えられている藍を使っての企画であった。爽やかな色に染め上がったストールが出来上がり楽しい企画となりました。

「養蚕かるた大会」

開催日： 令和8年8月9日（日）

開催報告：

駒ヶ根市内に本社のあった組合製糸「龍水社」が養蚕振興のために昭和56年に製作した「養蚕かるた」があります。このかるたは当時減少傾向にあった日本の繭生産が10万トンを割り込んだ時期にあたり、養蚕関係者は生産減少に危機感を持っていました。その対策として龍水社養蚕部が独自の対策として作ったのが「養蚕かるた」です。かるたは800部作られ、全国で販売されました。そのかるたを用いた「養蚕かるた大会」を地域おこし協力隊でシルクミュージアムを中心に活躍している湯谷まひろさんが今冬に続いて企画しました。かるたの読み札、絵札には養蚕作業のポイントや苦勞、また当時の伊那地方の生活の様子も読まれています。当日の飛び入り参加者も含め、会場は盛り上がりました。

「館長講話：駒ヶ根市が始めた令和の養蚕―伝統と最新研究の連携―」

開催日： 令和 8 年 8 月 11 日（火）

開催報告：

当市ではシルクミュージアムの活性化策として、駒ヶ根シルクプロジェクトを一昨年から行っています。福岡市にある KAICO 株式会社と連携したプロジェクトです。駒ヶ根市ではシルクミュージアムで 1 齢から 4 齢まで飼育し、5 齢を市民の皆さんに配蚕し、飼育してもらいます。繭はミュージアムへ納品してもらい、福岡の KAICO 株式会社へ送付します。同社では生きた蛹を取り出し、創薬事業に用います。繭ガラは不要で駒ヶ根市にリターンされます。本市ではその繭ガラを利用し、繭クラフトや真綿作りに利用します。伝統的な利用と最新の蚕利用（創薬利用）とを結びつけた新たな養蚕展開を「令和の養蚕」と呼んでいます。この活動を中心に養蚕のコツなどを九州大学で長年世界の様々な蚕の飼育を行ってきた伴野館長が講演しました。夏休みであったことから遠方からの参加もあり予想を超える 30 名近くの参加がありました。

2026 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2026 年度第 2 次審査委員会を 2026 年 8 月 26 日 (水) に開催しました。今回の申請は 3 者で、使用許諾されている 3 者のうち履歴の追加 1 者 3 品目、数量の追加 3 者 5 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、3 者 8 品目に対し、9 月 2 日 (水) 付けで純国産絹マークを使用許諾する旨、通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	履歴の内容 (繭生産地・企業等)
渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒 990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 892-1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	(履歴の追加) 先染反物 (綾御召)	34 反	繭生産 JA なす南・JA 新みやぎ 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色 (有) 製 織 自工房
	(数量の追加) 先染反物 (もじり織)	16 反	繭生産 JA なす南・JA 新みやぎ 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 自工房 製 織 自工房
	(履歴の追加) 先染ストール (もじり織)	9 枚	繭生産 JA なす南・JA 新みやぎ 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 自工房 製 織 自工房
	(履歴の追加) 先染ストール (もじり織)	18 枚	繭生産 JA なす南・JA 新みやぎ 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 自工房 製 織 自工房

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：尾上崇) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖)	22 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 篠春織物 (株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	48 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	6 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
(数量の追加) (株) マルシバ 代表者名：木下幸太郎 (担当者：野口俊二) 〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 7 階 TEL：03-3662-2431 表示者登録番号 160	古帛紗 (江戸小紋)	62 枚	蚕品種 白繭細 1 号 繭生産 長野県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 芋田織物 染 色 (有) 廣瀬染工場 仕 立 やまもと工藝

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2026 年度第 3 次：2026 年 11 月 25 日 (水)

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2026 年 10 月 23 日 (金)

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、伊藤

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

伊藤：ito@silk.or.jp

月日	活 動 内 容 等
7/3	令和 8 年度シルクのまちづくり市区町村協議会総会 (長野県 安曇野市)
7/7	全国シルクビジネス協議会通常総会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/7	第 1 回高付加価値蚕糸業確立検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/8	第 4 回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/13	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
7/29	タイ国クイーンシリキット養蚕局来会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/29	日本工芸会染織部会検討会 (茨城県阿見町 蚕糸科学技術研究所)
7/30 ~ 31	「カイコを育てよう！ 2026」キャンペーン蚕配付 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/17	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
8/26	純国産絹マーク審査委員会 (2026 年第 2 次)) (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/24 ~ 28	テキスタイルアドバイザー講習会 (茨城県阿見町 蚕糸科学技術研究所) (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/2	第 5 回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/14	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
9/26 ~ 27	明治神宮外苑創建百年記念 「聖徳記念絵画館の巨大壁画にせまる」展覧会関連催事出展 (渋谷区代々木神園町 明治神宮ミュージアム)

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	29
(2) 養蚕農家数の推移	30
(3) 繭生産数量の推移	31
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	32
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	33
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	34
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	35
(12) 製糸工場の操業状況	36
(13) 生糸在庫数量の内訳	37
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	38
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	39
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	40
(18) 絹織物生産数量	41
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	42

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	43
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	44

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
2023	146	45	308	0.2	7	33	—	1,242
2024	134	38	284	0.1	7	31	—	1,110
2025	113	31	274	0.1	7	30	—	1,016
前年比(%) 2025/2024	84.3	81.6	96.5	100.0	100.0	96.8	—	91.5

資料：・2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source：・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
2023	146	126	78	130
2024	134	122	74	113
2025	113	105	49	93
前年比(%)				
2025/2024	84.3	86.1	66.2	82.3

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
2023	45	17	11	17	308	135	141	131
2024	38	16	10	13	284	131	135	115
2025	31	13	7	11	274	124	143	118
前年比(%) 2025/2024	81.6	81.3	70.0	84.6	96.5	94.7	105.9	102.6
2025年 構成比(%)	100.0	41.5	23.2	35.3				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	—	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	—	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	—	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	—	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2023	154	2,936	—	3,158	859	7,495	137	2,515	3,213
2024	131	2,763	—	2,882	871	6,251	177	2,307	3,005
2025	128	2,086	0	2,250	757	5,626	173	2,089	2,814
2024 - 1	11	234	—	223	881	492	6	262	203
2	13	290	—	263	921	438	12	139	241
3	10	335	—	343	923	352	20	143	284
4	8	—	—	22	909	557	13	220	262
5	11	366	—	426	860	545	4	212	322
6	10	196	—	177	889	351	25	213	247
7	15	352	—	512	744	746	7	225	249
8	12	170	—	121	805	507	26	164	210
9	14	226	—	226	819	516	3	213	245
10	8	158	—	82	903	488	31	184	253
11	10	284	—	290	907	702	18	183	251
12	9	151	—	196	871	557	14	147	237
2025 - 1	13	206	—	276	814	513	20	205	161
2	10	110	—	120	814	564	12	135	247
3	13	334	—	318	843	387	12	165	245
4	12	—	—	10	845	547	10	165	251
5	6	279	—	377	753	680	7	220	251
6	9	197	—	163	796	448	8	135	245
7	14	207	—	136	803	500	9	208	259
8	8	91	—	125	777	284	6	146	178
9	11	193	—	288	693	430	18	153	215
10	10	120	—	35	788	350	11	179	308
11	10	170	0	225	743	418	42	214	225
12	12	179	—	177	757	504	17	164	230
2026 - 1	8	115	—	136	744	450	13	152	198
2	5	123	0	108	764	524	11	211	171
3	6	352	—	403	719	289	26	110	226
4	6	—	—	1	725	495	26	143	229
5	5	212	—	268	674	449	15	182	209
6	6	204	—	157	727	465	27	177	238
7	10	153	—	200	690	489	26	137	235

資料：(A) (C) (D) 中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量 + (A) + (B)} - {(C) + (E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
暦 年						
Calendar Year						
2015	378	—	146	86	36	110
2016	317	—	98	103	38	78
2017	339	—	107	95	53	84
2018	339	—	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2021	160	—	39	52	10	59
2022	168	—	38	50	12	68
2023	154	—	43	36	18	57
2024	131	—	40	35	4	52
2025	128	—	45	23	14	46
2024 - 1	11	—	5	2	1	3
2	13	—	3	3	2	5
3	10	—	2	4	0	4
4	8	—	2	2	0	4
5	11	—	1	1	0	9
6	10	—	4	1	1	4
7	15	—	6	5	0	4
8	12	—	5	4	0	3
9	14	—	5	6	0	3
10	8	—	3	2	0	3
11	10	—	2	2	0	6
12	9	—	2	3	0	4
2025 - 1	13	—	5	2	1	5
2	10	—	6	0	0	4
3	13	—	5	3	1	4
4	12	—	3	4	0	5
5	6	—	3	0	1	2
6	9	—	2	3	0	4
7	14	—	5	3	0	6
8	8	—	1	1	3	3
9	11	—	4	0	3	4
10	10	—	4	1	2	3
11	10	—	2	3	2	3
12	12	—	5	3	1	3
2026 - 1	8	—	3	1	1	3
2	5	—	1	1	1	2
3	6	—	1	1	2	2
4	6	—	0	0	2	4
5	5	—	0	1	2	2
6	6	—	2	1	0	3
7	10	—	3	2	2	3

資料 : 中央蚕糸協会 (2010. 4～2018. 10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018. 11～)

備考 : kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : Central Raw Silk Association (2010. 4～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
2023	166	45	0	121	3	7	6	105	121	20	0	0	7	13	101	45
2024	158	45	0	113	3	6	5	99	113	11	0	0	7	4	102	45
2025	151	45	0	106	2	6	4	94	106	11	0	0	7	4	95	45
前年比 (%) 2025/ 2024	96	100	—	94	67	100	80	95	94	100	—	—	100	100	93	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

Remarks: Starting in 2013, the ending inventory will be set at 45,000 bags.

(11)製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit : Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2015	116	159	115
	2016	115	110	120
	2017	103	120	103
	2018	92	117	78
	2019	89	97	70
	2020	72	73	69
	2021	55	57	67
	2022	46	59	54
	2023	43	50	37
	2024	39	46	27
	2025	47	49	25
2024 -	1	1	4	35
	2	0	4	31
	3	0	4	27
	4	0	3	24
	5	3	3	24
	6	8	4	25
	7	10	6	29
	8	3	4	27
	9	1	5	23
	10	13	3	33
	11	0	4	29
	12	1	3	27
2025 -	1	1	5	23
	2	1	4	20
	3	1	5	16
	4	1	5	12
	5	1	2	11
	6	8	4	15
	7	10	5	20
	8	0	3	17
	9	4	4	17
	10	10	4	23
	11	8	4	27
	12	2	4	25
2026 -	1	1	3	23
	2	1	2	22
	3	1	2	21
	4	1	2	20
	5	2	2	20
	6	7	2	25
	7	5	3	27

資料：中央蚕糸協会 (2012. 12～2018. 10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018. 11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : Central Raw Silk Association (2012. 12～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況 Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運 転 工 場 数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操 業 日 数 Days Operated	従 業 者 数 Number of Workers
			運 転 可 能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
	2021	7	74	15	20	214	43
	2022	7	64	14	22	230	41
	2023	7	44	15	34	235	41
	2024	7	44	13	31	265	34
	2025	7	42	13	30	219	41
2024 -	1	7	44	14	32	17	41
	2	7	44	13	30	20	41
	3	7	44	13	30	19	41
	4	7	44	9	20	20	40
	5	7	44	12	32	19	40
	6	7	44	15	34	21	43
	7	7	44	17	39	22	43
	8	7	42	18	43	17	20
	9	7	42	12	29	31	20
	10	7	42	13	31	30	20
	11	7	42	10	24	29	20
	12	7	42	13	31	20	38
2025 -	1	7	42	17	40	20	38
	2	7	42	16	38	18	40
	3	7	42	18	43	16	41
	4	7	42	21	20	19	41
	5	7	42	8	19	16	41
	6	7	42	14	33	19	41
	7	7	42	13	30	22	42
	8	7	42	12	29	15	35
	9	7	42	12	29	17	41
	10	7	42	13	30	21	42
	11	7	42	11	26	18	42
	12	7	42	11	26	18	42
2026 -	1	7	42	14	33	14	41
	2	7	42	12	29	15	41
	3	7	42	9	21	18	41
	4	7	42	4	10	16	41
	5	7	42	12	29	12	41
	6	7	42	10	24	18	41
	7	7	42	16	38	22	41

資料：中央糸系協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本糸系会 (2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1.The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2.Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3.Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸流通業者 silk distributor
2015		1,410	94	1,316
2016		1,406	130	1,276
2017		1,747	156	1,591
2018		1,330	230	1,100
2019		1,429	238	1,191
2020		1,066	178	888
2021		868	170	698
2022		927	127	800
2023		859	144	715
2024		871	128	743
2025		757	107	650
2024 -	1	881	138	743
	2	921	138	783
	3	923	138	785
	4	909	133	776
	5	860	133	727
	6	889	136	753
	7	744	138	606
	8	805	137	668
	9	819	137	682
	10	903	130	773
	11	907	130	777
	12	871	128	743
2025 -	1	814	128	686
	2	814	127	687
	3	843	121	722
	4	845	122	723
	5	753	118	635
	6	796	117	679
	7	803	117	686
	8	777	117	660
	9	693	113	580
	10	788	113	675
	11	743	111	632
	12	757	107	650
2026 -	1	744	105	639
	2	764	99	665
	3	719	98	621
	4	725	92	633
	5	674	93	581
	6	727	90	637
	7	690	93	597

資料 : 中央蚕糸協会 (2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会 (2018.11～)

Source : Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2022	3,646 (45)	2,402 (44)	1,222	—	22 (1)	—
2023	2,936 (52)	1,880 (52)	986	50	19	—
2024	2,763 (74)	1,912 (74)	844	—	7	—
2025	2,086 (46)	1,647 (45)	427	—	14 (2)	—
2024 - 1	234 (2)	234 (2)	—	—	—	—
2	290 (14)	130 (14)	161	—	—	—
3	335	325	10	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	366	250	116	—	—	—
6	196 (12)	103 (12)	93	—	—	—
7	352 (9)	211 (9)	140	—	—	—
8	170 (11)	75 (11)	95	—	—	—
9	226	220	—	—	6	—
10	158 (2)	75 (2)	84	—	—	—
11	284 (13)	233 (13)	50	—	1	—
12	151 (10)	55 (10)	95	—	—	—
2025 - 1	206 (5)	163 (5)	43	—	—	—
2	110	54	56	—	—	—
3	334 (11)	315 (11)	15	—	4	—
4	—	—	—	—	—	—
5	279	242	37	—	—	—
6	198 (2)	167 (2)	30	—	—	—
7	207 (9)	141 (7)	55	—	10 (2)	—
8	91	41	50	—	—	—
9	193	148	45	—	—	—
10	120 (17)	110 (17)	10	—	—	—
11	170	170	—	—	—	—
12	179 (2)	94 (2)	86	—	—	—
2026 - 1	115 (7)	105 (7)	5	—	5	—
2	123 (5)	103 (5)	20	—	—	—
3	352	236	110	—	6	—
4	—	—	—	—	—	—
5	212 (7)	209 (7)	3	—	1	—
6	204	138	66	—	—	—
7	153	109	45	—	—	—

資 料：財務省関税局

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリヤ Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2015		14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016		12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017		14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018		11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019		10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020		6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021		6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2022		7,945	4,670	2,665	2	0	608	0
2023		7,495	4,309	2,572	3	—	610	1
2024		6,251	3,541	2,397	3	0	308	1
2025		5,626	3,023	2,149	8	0	443	4
2024 -	1	492	336	156	—	0	—	0
	2	438	208	178	—	—	52	—
	3	352	223	129	—	0	—	0
	4	557	308	230	—	—	19	—
	5	545	263	265	0	—	17	0
	6	351	159	168	2	0	21	—
	7	746	418	255	0	—	73	—
	8	507	279	202	—	—	25	—
	9	516	319	196	0	—	—	—
	10	488	270	198	—	—	20	—
	11	702	488	199	—	—	15	—
	12	557	269	221	0	—	66	—
2025 -	1	513	353	129	1	—	30	—
	2	564	204	272	—	0	88	—
	3	387	273	114	0	—	—	—
	4	547	280	247	—	—	20	—
	5	680	351	306	—	—	24	—
	6	448	268	140	0	—	40	—
	7	500	219	227	—	—	55	—
	8	284	134	117	2	—	30	0
	9	430	229	162	4	—	35	1
	10	350	211	137	0	—	—	2
	11	418	239	139	—	—	40	—
	12	504	263	160	1	0	80	1
2026 -	1	450	295	156	—	—	—	—
	2	524	282	221	—	—	20	—
	3	289	132	91	1	—	66	—
	4	495	318	177	—	—	—	0
	5	449	306	142	—	—	—	1
	6	465	300	113	1	—	52	—
	7	489	306	168	0	—	15	1

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/kg
Unit:bale of 60kg, yen/kg

項目 Item 年 月 Year & Month	輸入生糸（通関ベース）				輸入絹糸（通関ベース）					
	Raw Silk Imprt				Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦 年 Calendar Year										
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021	1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2022	2,358	8,878	1,222	9,124	4,670	9,496	608	10,387	2,665	9,557
2023	1,828	9,499	986	10,302	4,309	9,874	610	11,679	2,572	9,946
2024	1,838	10,638	844	12,045	3,541	11,286	308	13,976	2,397	11,209
2025	1,602	10,669	427	12,162	3,023	11,126	443	13,963	2,149	11,055
2024 - 1	232	10,147	—	—	336	10,230	—	—	156	10,613
2	116	10,188	161	11,358	208	10,671	52	12,711	178	10,685
3	325	10,407	10	12,133	223	11,036	—	—	129	11,494
4	—	—	—	—	308	11,413	19	13,902	230	11,041
5	250	11,006	116	12,258	263	11,527	17	14,251	265	11,560
6	91	11,019	93	12,417	159	11,399	21	14,281	168	11,314
7	202	11,146	140	12,747	418	12,120	73	14,673	255	11,592
8	64	10,573	95	12,241	279	11,171	25	14,162	202	11,411
9	220	10,228	6	12,136	319	10,796	—	—	196	10,905
10	73	10,420	84	11,460	270	11,019	20	12,854	198	10,841
11	220	11,147	50	11,648	488	11,741	15	14,054	199	11,178
12	45	10,859	95	12,068	269	11,688	66	14,308	221	11,554
2025 - 1	158	11,287	43	12,428	353	12,138	30	14,260	129	11,970
2	54	11,040	56	12,466	204	11,786	88	14,139	272	11,779
3	304	10,707	15	10,857	273	11,152	—	—	114	11,028
4	—	—	—	—	280	11,267	20	13,767	247	11,221
5	242	10,155	37	10,326	351	10,429	24	13,490	306	10,683
6	165	10,181	30	11,960	268	10,606	40	13,387	140	9,451
7	134	10,454	55	11,964	219	10,783	55	13,469	227	10,725
8	41	10,354	50	12,200	134	11,082	30	13,808	117	10,826
9	148	10,570	45	12,268	229	10,764	35	13,738	162	11,087
10	93	10,584	10	12,310	211	11,342	—	—	137	10,956
11	170	10,994	—	—	239	10,740	40	14,046	139	11,433
12	92	11,602	86	12,947	263	11,344	80	14,599	160	11,313
2026 - 1	98	11,188	5	11,413	295	11,736	—	—	156	11,580
2	98	10,698	20	12,862	282	11,175	20	14,609	221	11,366
3	236	11,192	110	13,037	132	11,732	66	14,422	91	11,887
4	—	—	—	—	318	11,497	—	—	177	11,484
5	202	11,283	3	13,144	306	11,333	—	—	142	11,543
6	138	11,312	66	13,316	300	11,683	52	15,098	113	11,465
7	109	11,586	45	13,509	306	11,762	15	14,683	168	12,492

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F 価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit：1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
2023	1,242	817	548	0	269	288	82	206	136
2024	1,110	675	445	0	230	323	126	197	112
2025	1,016	627	433	0	194	291	114	177	98
2024 - 1	94	58	44	0	14	26	10	16	9
2	96	56	40	0	16	27	11	16	12
3	93	56	44	0	12	28	11	17	10
4	93	54	42	0	12	29	12	17	10
5	103	66	36	0	30	28	11	17	9
6	92	54	34	0	20	28	11	17	9
7	95	52	35	0	17	29	12	17	13
8	71	40	30	0	10	23	8	15	7
9	84	46	32	0	14	28	11	17	10
10	95	61	36	0	25	28	11	17	7
11	101	68	36	0	32	25	9	16	7
12	94	61	35	0	26	24	9	15	8
2025 - 1	88	57	43	0	14	23	8	15	7
2	81	45	34	0	11	26	10	16	10
3	90	56	45	0	11	24	10	14	9
4	86	51	32	0	19	26	10	16	9
5	95	62	40	0	22	25	10	15	8
6	86	51	30	0	21	25	10	15	10
7	84	52	41	0	11	24	9	15	8
8	70	44	31	0	13	22	9	13	5
9	73	40	30	0	10	25	10	15	9
10	92	59	37	0	22	26	10	16	8
11	84	54	32	0	22	24	10	14	6
12	88	57	38	0	19	23	9	14	8
2026 - 1	81	49	34	0	15	24	9	15	8
2	70	38	29	0	9	24	9	15	8
3	80	48	37	0	11	24	10	14	8
4	93	59	45	0	14	24	10	14	9
5	79	50	31	0	19	22	8	14	6
6	85	50	32	0	18	25	10	15	10
7	76	42	30	0	12	25	10	15	9

資料：(一社) 日本絹人織織物工業会(～2020. 6) 経済産業省生産動態統計(2020. 8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 2025年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020. 6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020. 8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. Data are corrected until 2025.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2023	1,242	86.0	147,196	92.6	11,657	97.2	254,378	90.4
2024	1,110	89.4	132,320	89.9	9,976	85.6	206,760	81.3
2025	1,016	91.5	108,806	82.2	8,025	80.4	182,433	88.2
2024 - 1	94	88.3	8,032	85.0	885	87.5	14,648	61.1
2	96	96.8	13,377	103.8	1,043	124.8	17,070	86.2
3	93	89.4	11,675	97.6	999	110.9	18,682	73.4
4	93	83.0	12,093	90.7	997	113.6	20,584	86.9
5	103	91.2	10,096	84.9	722	60.3	21,751	99.9
6	92	83.6	13,031	96.4	702	73.7	16,369	68.4
7	95	95.0	10,794	81.8	876	78.1	15,860	84.9
8	71	70.3	8,492	94.9	546	63.9	13,324	82.0
9	84	90.3	12,063	84.9	921	134.6	17,628	90.6
10	95	93.1	9,186	74.4	921	93.1	17,386	86.1
11	101	94.4	12,377	99.8	684	66.4	18,223	84.8
12	94	98.9	11,104	85.2	680	56.5	15,253	77.5
2025 - 1	88	93.6	6,913	86.1	680	76.8	14,152	96.9
2	81	84.4	11,714	87.6	702	67.3	13,393	79.5
3	90	96.8	8,227	70.5	878	87.9	15,781	84.3
4	86	92.5	9,550	79.0	718	72.0	18,671	88.7
5	95	92.2	8,975	88.9	522	72.3	21,545	101.1
6	86	93.5	10,252	78.7	768	109.4	17,460	104.7
7	84	88.4	9,400	87.1	647	73.9	16,341	103.0
8	70	98.6	7,040	82.9	503	92.1	10,685	78.3
9	73	86.9	9,970	82.6	811	88.1	14,627	86.1
10	92	96.8	8,725	95.0	708	76.9	13,407	75.4
11	84	83.2	9,139	73.8	545	79.7	13,103	72.6
12	88	93.6	8,901	80.2	543	79.9	14,016	91.7
2026 - 1	81	92.0	6,305	91.2	442	65.0	13,431	92.9
2	70	86.4	9,300	79.4	589	83.9	11,958	89.3
3	80	88.9	8,269	100.5	683	77.8	14,458	82.2
4	93	108.1	8,694	91.0	724	100.8	16,023	95.0
5	79	83.2	8,217	91.6	539	103.3	15,173	75.1
6	85	98.8	8,939	87.2	698	90.9	15,806	89.6
7	76	90.5	7,764	82.6	495	76.5	11,892	72.8
8			6,571	93.3	521	103.6		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 絹織物生産数量の数値は2025年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver' s Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1.Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2.The figures of silk fabric production quantity are corrected until 2025.

— 資料・海外 —

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2019年	2020年	2021年
		トン	トン	トン
日本	Japan	92	80	61
中国	China	201,572	156,690	136,964
インド	India	185,143	169,345	187,241
ウズベキスタン	Uzbekistan	21,374	20,942	22,770
イラン	Iran	1,407	1,756	1,653
タイ	Thailand	5,011	3,715	3,593
ブラジル	Brazil	3,047	2,742	2,211
ベトナム	Vietnam	11,855	14,937	16,444
北朝鮮	North Korea	2,643	2,643	2,643
トルコ	Turkey	90	90	76
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	18	18	21
シリア	Syria	1	1	2
主要国の計	Total	432,253	372,959	373,679

区 分		2022年	2023年	2024年
		トン	トン	トン
日本	Japan	51	45	38
中国	China	146,560	146,867	147,000
インド	India	199,752	215,642	
ウズベキスタン	Uzbekistan	24,300	25,886	30,066
イラン	Iran	1,798	1,772	1,800
タイ	Thailand	3,107	2,079	2,000
ブラジル	Brazil	1,807	1,715	1,581
ベトナム	Vietnam	16,824	17,727	15,884
北朝鮮	North Korea	2,643	2,643	2,581
トルコ	Turkey	69	78	85
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	21	23	23
シリア	Syria	1	1	1
主要国の計	Total	396,933	414,478	201,059

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、
それ以外の国は国連食糧農業機関(FAO)の統計値を使用した。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Others than these countries, based on the data of Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格 Spot Price of Various Silk Goods

2026年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	133.00 ~ 155.00	3,059 ~ 3,565
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	151.25 ~ 183.50	3,479 ~ 4,221
3	玉繭(double cocoon)		96.25 ~ 123.19	2,214 ~ 2,833
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	120.00 ~ 158.00	2,760 ~ 3,634
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	442.50 ~ 506.25	10,178 ~ 11,644
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	449.25 ~ 516.25	10,333 ~ 11,874
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	440.50 ~ 478.00	10,132 ~ 10,994
8	玉糸(doupion silk)	110d	435.25 ~ 455.25	10,011 ~ 10,471
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	37.25 ~ 45.75	857 ~ 1,052
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.75 ~ 70.75	1,397 ~ 1,627
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.75 ~ 56.75	1,167 ~ 1,305
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.75 ~ 49.75	983 ~ 1,144

注:1元=23円

1 CNY=23 JPY

2026年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	132.75 ~ 154.25	3,186 ~ 3,702
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	150.00 ~ 183.75	3,600 ~ 4,410
3	玉繭(double cocoon)		94.75 ~ 122.13	2,274 ~ 2,931
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	120.75 ~ 159.00	2,898 ~ 3,816
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	433.00 ~ 495.75	10,392 ~ 11,898
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	440.00 ~ 506.75	10,560 ~ 12,162
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	427.25 ~ 460.50	10,254 ~ 11,052
8	玉糸(doupion silk)	110d	430.50 ~ 452.00	10,332 ~ 10,848
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	37.00 ~ 45.38	888 ~ 1,089
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 70.50	1,452 ~ 1,692
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 56.50	1,248 ~ 1,356
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	44.25 ~ 49.50	1,062 ~ 1,188

注:1元=24円

1 CNY=24 JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2026年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	132.00 ~ 154.00	3,168 ~ 3,696
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	149.00 ~ 184.00	3,576 ~ 4,416
3	玉繭(double cocoon)		94.00 ~ 122.50	2,256 ~ 2,940
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	123.00 ~ 161.60	2,952 ~ 3,878
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	423.20 ~ 486.80	10,157 ~ 11,683
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	431.60 ~ 500.00	10,358 ~ 12,000
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	423.00 ~ 454.20	10,152 ~ 10,901
8	玉糸(doupion silk)	110d	430.00 ~ 452.00	10,320 ~ 10,848
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	37.00 ~ 45.50	888 ~ 1,092
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 70.50	1,452 ~ 1,692
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.50 ~ 56.50	1,212 ~ 1,356
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.50 ~ 49.50	1,020 ~ 1,188

注:1元=24円

1CNY=24JPY

2026年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	131.00 ~ 154.00	3,144 ~ 3,696
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	149.00 ~ 183.00	3,576 ~ 4,392
3	玉繭(double cocoon)		94.00 ~ 122.50	2,256 ~ 2,940
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	123.50 ~ 163.00	2,964 ~ 3,912
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	420.00 ~ 482.25	10,080 ~ 11,574
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	424.00 ~ 495.25	10,176 ~ 11,886
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	421.00 ~ 450.00	10,104 ~ 10,800
8	玉糸(doupion silk)	110d	430.00 ~ 452.00	10,320 ~ 10,848
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	37.00 ~ 45.50	888 ~ 1,092
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 70.50	1,452 ~ 1,692
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.50 ~ 56.50	1,212 ~ 1,356
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.50 ~ 49.50	1,020 ~ 1,188

注:1元=24円

1CNY=24JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp/publications/#link03>



シルクレポート 2026 年 10 月号 No.91 令和 8 年 10 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず